

34歳以下の若手540人に聞いた 「テレワーク」実態調査

地域・転職経験有無によってテレワーク実施率に差。
今後希望する働き方第1位は「ハイブリッド型」で「完全在宅」希望者を上回る結果に。

— 『AMBI』ユーザーアンケート —

エン・ジャパン株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：鈴木孝二）が運営する若手ハイキャリア向けスカウト転職『AMBI』（<https://en-ambi.com/>）上で、34歳以下のユーザーを対象に「テレワーク」についてアンケートを実施し、541名から回答を得ました。以下、概要をご報告します。

調査結果 概要

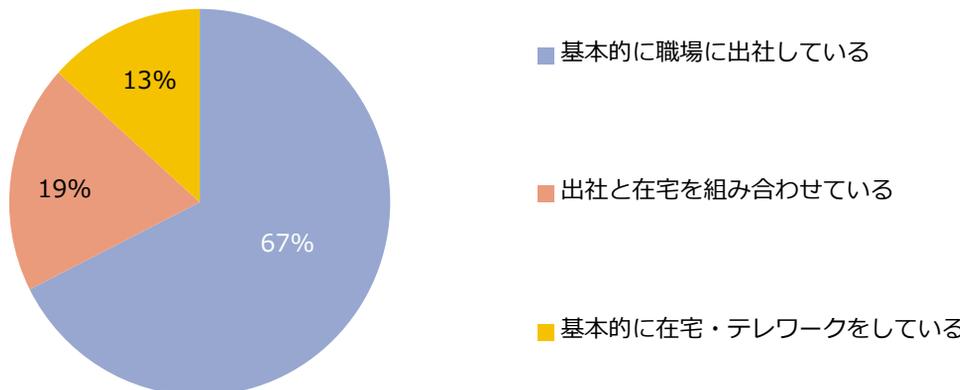
- ★ 7割が「出社勤務している」と回答。テレワーク勤務は1割に留まる。
- ★ 出社勤務率、関東6割に対し、関西・その他地域は8割と地域差が出る結果に。
- ★ 転職経験者のテレワーク実施率は、転職未経験者に比べ約2倍。
- ★ 今後希望する働き方、「ハイブリッド型」が65%で第1位。「完全在宅」希望者は2割に留まる。

■ 調査結果 詳細

1：7割が「出社勤務している」と回答。テレワーク勤務は1割に留まる。（図1）

「現在テレワークは実施されていますか？」と伺うと、67%の方が「基本的に職場に出社している」と回答しました。「出社と在宅を組み合わせている」と回答した方は19%、「基本的に在宅・テレワークをしている」と回答した方は13%でした。

【図1】 現在テレワークは実施されていますか？

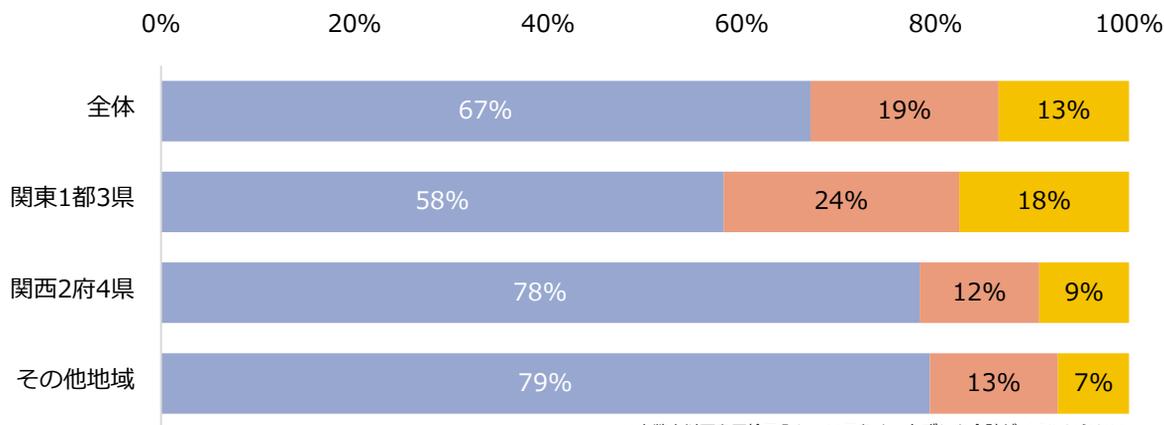


※小数点以下を四捨五入しているため、必ずしも合計が100にならない。

2： 出社勤務率、関東6割に対し、関西・その他地域は8割と地域差が出る結果に。（図2）

地域別でテレワークの実施状況を伺うと、「基本的に職場に出社している」と回答した方は、関東1都3県が58%と一番少ない結果となりました。関西2府4県は78%、その他地域が79%と、地域によって出社率に差があります。関東1都3県で「出社と在宅を組み合わせている」「基本的に在宅・テレワークをしている」と回答した方は、関西2府4県やその他地域の約2倍に及ぶ結果となりました。

【図2】 現在テレワークは実施されていますか？（地域別）



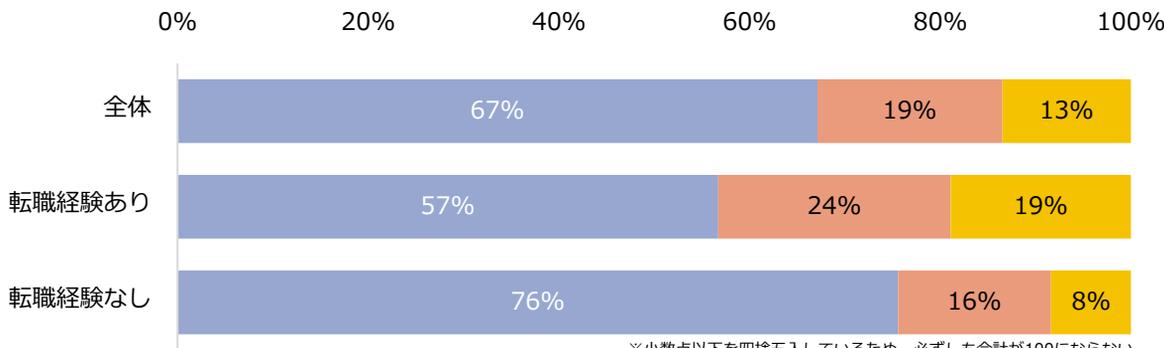
※小数点以下を四捨五入しているため、必ずしも合計が100にならない。

■ 基本的に職場に出社している ■ 出社と在宅を組み合わせている ■ 基本的に在宅・テレワークをしている

3： 転職経験者のテレワーク実施率は、転職未経験者に比べ約2倍。（図3）

テレワーク実施状況を転職経験別で見ると、「出社と在宅を組み合わせている」方の割合は、転職経験者が転職未経験者の1.5倍に（転職経験あり：24%、転職経験なし：16%）。また「基本的に在宅・テレワークをしている」方の割合は、転職経験者が転職未経験者の2倍以上になりました（転職経験あり：19%、転職経験なし：8%）。

【図3】 現在テレワークは実施されていますか？（転職経験別）



※小数点以下を四捨五入しているため、必ずしも合計が100にならない。

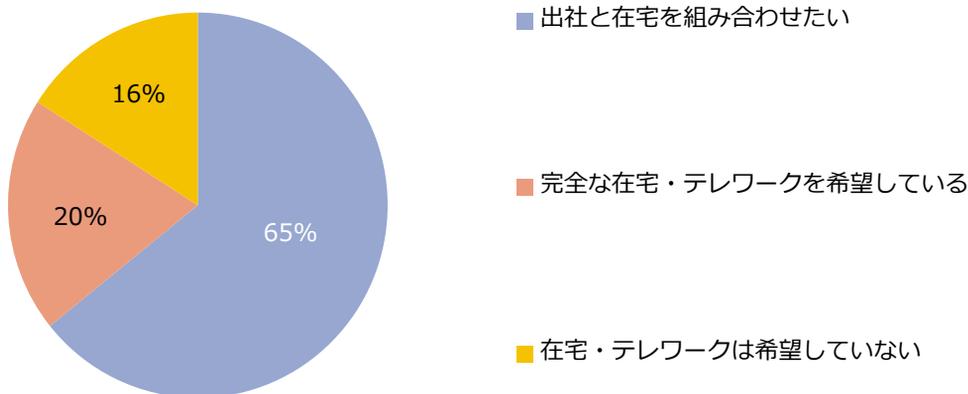
■ 基本的に職場に出社している ■ 出社と在宅を組み合わせている ■ 基本的に在宅・テレワークをしている

4：今後希望する働き方、「ハイブリッド型」が65%で第1位。「完全在宅」希望者は2割に留まる。（図4～6）

「今後の働き方としてテレワークは希望していますか？」と伺うと、「出社と在宅を組み合わせたい」と回答の方が65%で最多でした。「完全な在宅・テレワークを希望している」は20%、「在宅・テレワークは希望していない」は16%でした。

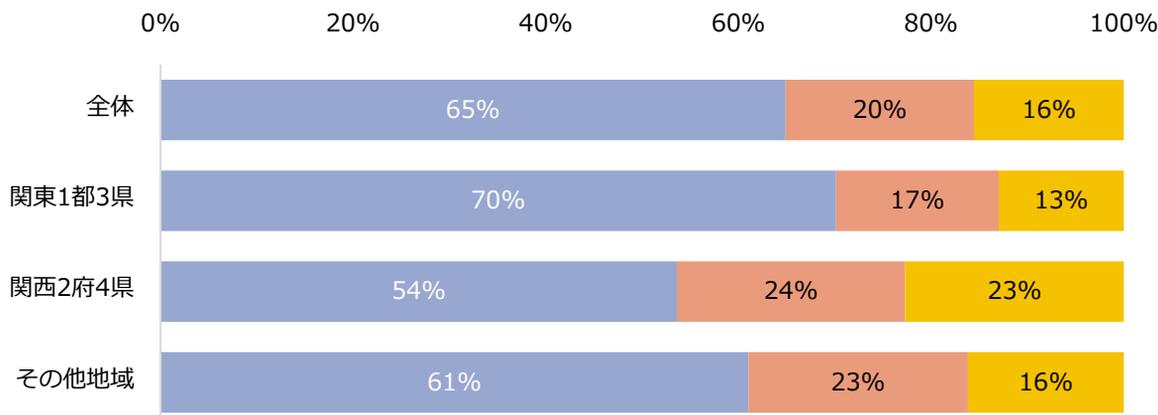
地域別で見ると、関東1都3県では「出社と在宅を組み合わせたい」と回答の方が、関西2府4県やその他地域よりも多いことが分かりました（関東1都3県：70%、関西2府4県：54%、その他地域：61%）。転職経験別では大きな差はありませんでした。今後の働き方について、それぞれの回答の具体的な理由もご紹介します。

【図4】 今後の働き方としてテレワークは希望していますか？



※小数点以下を四捨五入しているため、必ずしも合計が100にならない。

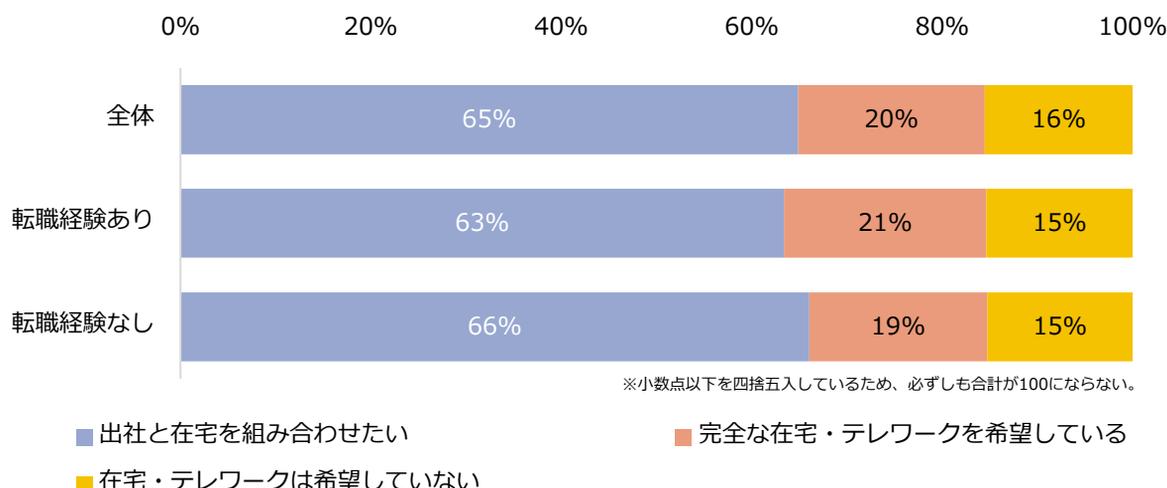
【図5】 今後の働き方としてテレワークは希望していますか？（地域別）



※小数点以下を四捨五入しているため、必ずしも合計が100にならない。

- 出社と在宅を組み合わせたい
- 完全な在宅・テレワークを希望している
- 在宅・テレワークは希望していない

【図6】 今後の働き方としてテレワークは希望していますか？（転職経験別）



Q.今後の働き方についての回答の理由・詳細を教えてください。

- 「出社と在宅を組み合わせたい」と回答した方
 - ・ 保育園の送迎などを考えると、週に何日かでもテレワークだと助かる。（25歳／女性）
 - ・ テレワークは非常にフレキシブルに働くことができる一方で、出社では密なコミュニケーションを図ることができる場面もあるため。（28歳／男性）
 - ・ ハイブリッド型が体力的にも、仕事のコミュニケーションの取りやすさの点でも働きやすいと感じている。（33歳／男性）
- 「完全な在宅・テレワークを希望している」と回答した方
 - ・ パートナーの職种的に地方に移住しなければならないが、地方では現在の給与水準より遥かに下回ってしまうため。（26歳／男性）
 - ・ 毎日出社をしなくてもコミュニケーションが取れる仕組みになってきており、無駄な交通費や交通時間を減らせるから。（28歳／男性）
 - ・ 子供がおり、在宅勤務の方がトラブルなどに対応しやすいため。（33歳／女性）
- 「在宅・テレワークは希望していない」と回答した方
 - ・ 出社して顔を合わせた方がコミュニケーションを取りやすいため。（23歳／女性）
 - ・ 仕事をプライベート空間にあまり持ち込みたくないため。（25歳／女性）
 - ・ 会社が一番業務に集中できる環境だと感じる。（34歳／男性）

【調査概要】

- 調査方法：インターネットによるアンケート
- 調査対象：『AMBI』（<https://en-ambi.com/>）を利用する34歳以下のユーザー
- 調査期間：2023年2月24日～3月6日
- 有効回答数：541名

若手ハイキャリアのためのスカウト転職サービス『AMBI（アンビ）』



<https://en-ambi.com/>

高いポテンシャルを持つ若手ハイキャリア向けのスカウト転職サービス。企業からの直接スカウトやヘッドハンターからのスカウトが受け取れるだけでなく、公開求人への自主応募も可能です。大手・スタートアップ・行政などのレア求人も多数。幹部候補や次世代リーダー・マネージャー向けの求人をはじめ、早期にレベルの高い仕事に挑戦できる環境が整ったハイクラス求人を厳選して掲載しています。

最新のビジネストレンドや活躍する若手のインタビューを題材としたクオリティの高い特集記事、人事担当者・ヘッドハンターが求職者の合格可能性を判定する「マイバリュー」など独自の機能を通じ、自身のキャリアについて考えるきっかけを提供。より高いパフォーマンスを発揮できる場を探す若手の転職活動を支援します。